

まつやま中学生海外派遣2026

アメリカ班

2026.7.21～7.28

アメリカ班 日程表

月日	行程
7月21日(火)	松山空港発 サンフランシスコ空港着
7月22日(水)	サクラメント市庁舎見学 カリフォルニア州議事堂見学 カリフォルニア博物館見学 Welcome and Thank youディナー
7月23日(木)	砂金採集体験 鉄道博物館 オールドサクラメント散策
7月24日(金)	サター岬見学 花見ライン カリフォルニア・ステートフェア
7月25日(土)	ホストファミリーと過ごす
7月26日(日)	ホストファミリーと過ごす
7月27日(月)	サンフランシスコ空港発
7月28日(火)	松山空港着



アメリカの地方自治と民主主義の仕組み、州議会（上院・下院）がどのように法律を作るかなど、アメリカという国の根幹を学べた。日本との違いを感じたのは、民衆が直接、意見を言えるところだ。日本は、民衆の意見は手続きをして伝えたり、議員を経由して伝わったりするなどだ。議員の安全やスムーズな話し合いという観点では日本の方が良いと言えるが、アメリカのオープンさは民主主義の国としていいと思った。



地元の先住民族を強制労働させたり土地を奪ったりした側面も併せて展示されていた。社会科などで先住民の強制労働と言われてもイメージが薄かった。しかし、サター砦の展示を見て、具体的に何をさせていたか、どんな環境で暮らしていたかがリアルに感じられ、どこか遠く感じていた社会科の話の解像度が上がった。



ハイチュウやポッキーなど日本のお菓子が多くあった。他にも日本のアニメのTシャツを着ている人がいたり、トヨタの看板があったり、日本のゲームのキャラのガチャがあったり、日本のお菓子や会社、文化がアメリカでも人気なのを目で見て、日本の影響力を実感した。



ホストファミリーと公園でバレーをした。アメリカの公園は広くスポーツ前提で設計されており、ボール遊びに寛容だと知った。日本ではさまざまな人への配慮から、球技禁止の公園が多い。アメリカのように自由にボール遊びができる公園が増えてほしいと感じた。



<サクラメント市庁舎>

新市庁舎は旧市庁舎を守る形で、低めに丸くなって建てられているようです。

市庁舎の前には、姉妹都市の方向と距離を示す看板があります。松山市も書かれていて、サクラメントから松山がどの方向にあるのか分かります。今でも姉妹都市は増えているようです。



<カリフォルニア州議事堂>

カリフォルニア州議事堂は、1869年に完成し、現在も州議会が開かれている場所です。上院は赤、下院は緑を基調とした議場になっています。

建物の前には大きな公園があり、戦争の記念碑や、小さい植物園、たくさんのバラが咲いている場所もあります。



<金鉱発掘ツアー>

ここは、ゴールドラッシュのきっかけとなった場所です。

1848年にジェームズ・マーシャルが、サッターズ・ミルという製材所の水路で金を発見しました。

砂金採集では、本物の金は本当に小さくて、見つけるためにはとても集中力が必要でした。

時には、本物の金より大きい「ダミー」に出会うこともあります。



<花見ライン>

ここは松山市とサクラメント市が姉妹都市としてのつながりを表す場所の一つで、手前に写っているマンホールは松山市から送ったものです。

また、「松山通り」といってその道の方角を歩いたら松山に着くような設計になっています。

小野中学校 2年 川本 怜



アメリカ サクラメント市



僕を受け入れてくれたホストファミリーはデイビットさんという方です。4人家族でこの写真に写っているお兄さんはテオさんです。皆さんとは買い物に行ったり野球を見に行ったりバーベキューをしたりしました。初めは上手く話すことはできなかったけれどジェスチャーなどを用いてコミュニケーションを取ることができました。



この写真は飛行機から一番最初に見えたアメリカ本土の写真です。最初はアメリカにこれたことに感動したけれど、そのうち、アメリカで英語が通じるか、生活できるかどんどん不安になりました。けれど、なんとかなると心を決め、「どんな事にも一回は挑戦する」というきっかけを次に繋げていきました。



この写真はカリフォルニア州フェアのロープウェイの写真です。この時に初めて自分1人でアメリカの人からチケットを買う機会でした。自分の英語が通じるかなという気持ちと自分なりに頑張ろうと思う気持ちが混ざったけれど、上手くチケットが買えたので、とても嬉しかったです。



サクラメント市議会に行ったときに松山や日本との違いを感じました。アメリカは議会に対して市民が自ら議会に意見を出すことができると知ってこのシステムは日本でも取り入れて欲しいと思いました。市議会の椅子に座った時にとても座り心地が良く席も高かったので全体が見渡しやすかったです。市民の意見をしっかり聞いてくれていると感じました。



この写真は、サクラメント市の市役所の議場を見学している様子です。市議会が行われる場所で、議員が座る席や大きなスクリーンなどがあり、アメリカの行政について学びました。



カリフォルニア州議事堂は、カリフォルニア州の法律や政治について話し合い、州の重要なことを決める場所です。州議会の議員が集まり、法律を作ったり、州の予算などについて議論したりしています。サクラメントにあり、カリフォルニア州の政治の中心になっています。



サクラメントのハナミラインにあるマンホールです。松山市が寄付したもので、松山市の花などがデザインされています。「マツヤマドオリ」に設置されていて、遠く離れたサクラメントと松山市の姉妹都市としての繋がりを感じることができました。



この写真は、サクラメントの姉妹都市の方向と距離を示す標識です。松山市の名前も記載されています。遠く離れた日本とアメリカが姉妹都市として繋がっていることを実感でき、松山の表示を見つけてとても嬉しく感じました。



サクラメントの市役所敷地内にあります。

姉妹都市の名前、方角、距離が記されています。6月25日、メキシコのミチョアカン州モレリアが新たに姉妹都市となり標識に追加されたそうです（写真一番下）。姉妹都市の多さに驚きました。



カルフォルニア州の高速道路の写真です。ぼくが見た限り、少なくとも片側5車線、合計10車線、多いところでは片側6車線合計12車線もありました。また、日本のように有料ではなく、無料で通れるようになっていました。松山道は対面か片側2車線で通行量も少ないので、車線の多さ・通行無料というだけでも、僕の想像をはるかに超えていました。



砂金体験では、オースティンさん（中央の方）が、レンジャーの服を着させてくださいました。金が本物なのか偽物なのか、全く区別がつかなかったので採集する度に、ガイドさん（右の方）に尋ねました。

結果は・・・

なんと！沢山の金を採集することができました。

★ MCCOVEY CHRONICLES



Jul 25, 2026; San Francisco, California, USA; San Francisco Giants fans hold foam fingers for right fielder Jung Hoo Lee (not

ホストファミリーと一緒に、サンフランシスコジャイアンツの野球観戦をしている場面が、アメリカのデジタル新聞に掲載されました。自分の応援しているところが新聞やスクリーンに映るとは思わなかったもので、とてもうれしかったです。





- 建物の大きさはとても大きい
- 美術館の様で歴史的建造物
- 愛媛県庁舎本館（昭和4年築の国登録有形文化財）は戦前のレトロで重厚な近代建築



カルフォルニア州議事堂は
カルフォルニア州のシンボル



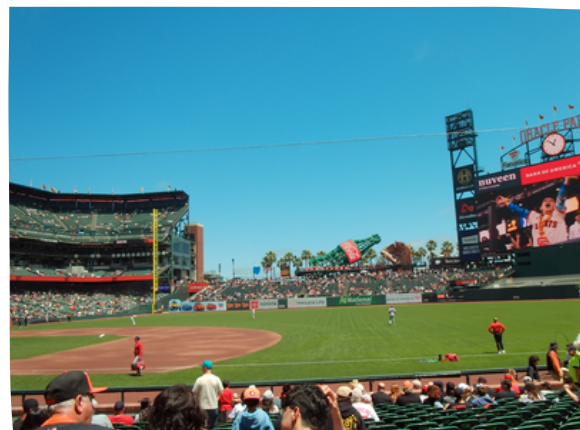
○この棒は姉妹都市になっている場所を正確に示し、それを街中に置いているところが姉妹都市を大切にしていると思った

○新たに姉妹都市になった都市もしっかりと記しており、松山市にはこのような棒がないため是非とも取り入れてほしいと思った



○アメリカで有名なだけあって、日本で馴染みのあるマクドナルドやモスバーガーより少し高そうでしたがとても美味しかった

○ジュースを注ぐところが棒を押すと出てくるところがとても驚いた



○人生で初めてMLBの試合を
ホストファミリーと観戦

○日本のプロ野球観戦より、
観客の数が多く圧倒された

○日本ではチーム応援歌が歌
われたりする



○アメリカでは応援歌はなく、
違う盛り上がりを感じた



ホームステイを通し、国を超えても人の優しさは変わらないと感じました。ホストファミリーは、僕たちを本当の家族のように接して下さいました。映画で見たことのなかったゴールデンゲートブリッジを渡ることができ、とても嬉しかったです！

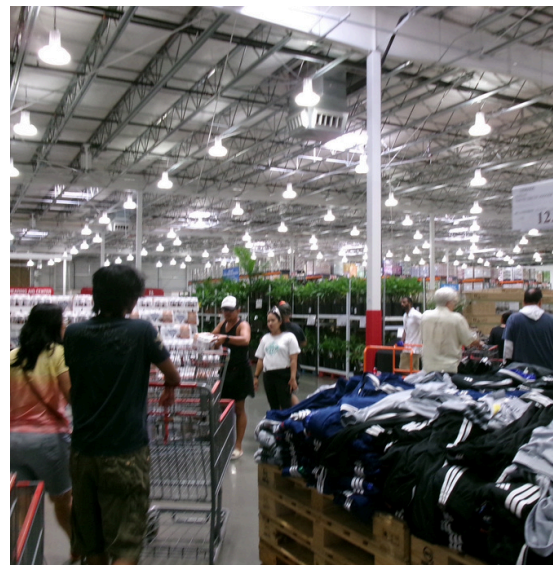


コロマでは、ゴールドラッシュの面影がある場所が沢山ありました。

特に採掘場では、大きな岩が転がっていて、当時の人たちが命をかけて金の採取をしていたのだと感じました。また、日本から遠く離れたコロマの地に、ジョン万次郎がいたと知り、不思議な気持ちになりました。



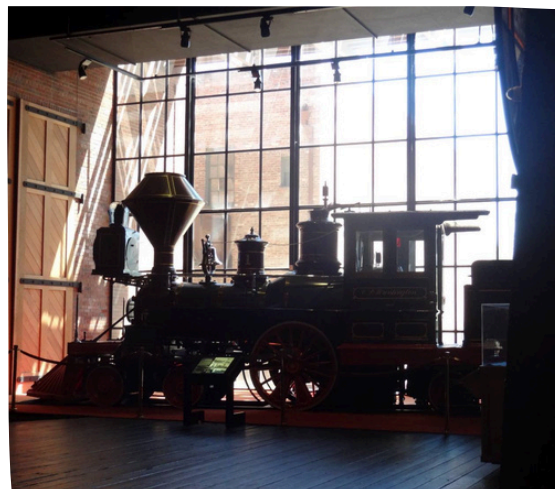
どの食べ物も相当な量があり、僕はアメリカにいる間、常に満腹で幸せでした！ただ、量が多いことに加えて味付けも濃かった為、現地の人も含め多くの人が食べ物を残していました。食べられる量を考えるなど、フードロスの観点で工夫が必要だと思いました。



どの店舗も規模が大きく、品数がとても多かったです。コンビニのようなすぐに行けるお店が少ないため、一度に沢山買い込む文化があると思います。小分けで買うことが難しいので、食品の管理も難しくフードロスに繋がるのではないかと感じました。



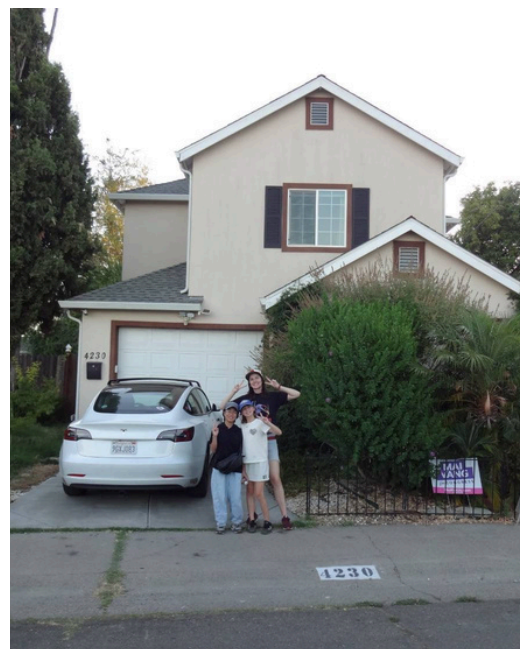
1つ目は砂金採取体験「コロマ」に行ったことです。
最初にコロマの歴史を学び、そこでどのような歴史があったのかが学べました。砂金採取体験では、本物の金を取ることができました。最初は取るのが難しく、苦戦したけれど友達や大人の方々に教えてもらったおかげでたくさんの金を取ることができました。



2つ目は鉄道博物館で昔の鉄道を見たことです。
自分の中で一番楽しみにしていた場所で日本の列車にはない、内装や外装を見れてとても嬉しかったです。食堂車や寝号車など初めて見る列車ばかりでとてもよかったです。



3つ目はステート・フェアに行ったことです。
海外の遊園地は日本の遊園地よりもたくさんの遊具があり、とても楽しめるなと思いました。
私は、リフトに乗って上から建物を見ました。リフトにはあまり乗ったことがなく、とても楽しかったです。



4つ目はホームステイをしたことです。
ホームステイではサイクリングで、ボーリングやタワーブリッジに行ったり、私の誕生日を祝ってくれました。
今回の海外派遣でたくさんの学べたことがありました。これからたくさんのことに活かしていきたいです



私が選んだ写真の1つ目は、サッター砦の樽を作っていた場所です。サッター砦ではジョン・サッターがさまざまな事業をしていて感動しました。鍛冶屋、パン屋、牢獄、食堂が当時のまま復元されていて勉強になりました。



2つ目は花見ラインで見つけた松山市のマンホールです。花見ラインでは松山市の姉妹都市だということもあり松山市の桜なども見られました。



3つ目はサクラメント市庁舎です。新市庁舎は旧市庁舎を囲むようなアーチ状に作られており、歴史ある建物だそうです。この市庁舎では議員さんのお話を聞いたり議員さんの席に座らせていただくことができてとても嬉しかったです。



4つ目はサクラメント市庁舎のとなりにある姉妹都市を指す看板です。松山市だけではなく世界各国にサクラメント市と姉妹都市を結んでいる地域がありとても驚きました。松山の方位を指していることも知れました。

勝山中学校 3年 渡辺 友梨



アメリカ サクラメント市



サクラメントの市長さんの椅子に座ることが出来ました。大きな椅子で座り心地が良かったです。タブレットの画面に自分やみんながうつっていておもしろかったです。建物も旧市庁舎を守るように建設されていると知ることができました。普段はできない貴重な体験が出来ました。



ホストファミリーとキャンプへ行きとても楽しかったです。日本とは違いご飯はキャンプに来ている人全員で作り、皆で食べました。ホストファミリーがとても料理上手だったので色々教えてもらいながら私も一緒に作りました。夜はキャンプファイヤーで焼きマシュマロを食べながら現地の人達とたくさんお話しできて、思い出ができました。



実際に寝台車や食堂車の中に入ることができ、リアルな人形に驚いたけどとても本格的でおもしろかったです。展示されている蒸気機関車や客車はどれもとても大きく迫力がありました。日本の電車とは全く異なるアメリカならではの巨大なスケール感を感じることが出来ました。



ホストファミリーはとても優しくフレンドリーでした。どんな時も私が退屈しないようにゲームに誘ってくれたりお話ししたり日本のアニメを付けてくれたりして嬉しかったです。ペットの犬の「クマ」はとても大きくておとなしく、人懐っこくてかわいかったです。一緒に過ごした時間すべてが大切な思い出です。



アメリカ班 7月21日~7月28日



感動したこと

この写真はサクラメント市庁舎にある、姉妹都市を指している標識です。「松山」と書かれているのを見て、サクラメント市とのつながりを感じられとても感動しました。松山市以外にも、世界各国にサクラメント市との姉妹都市があることが分かりました。その中でも、松山市は昔からサクラメント市と交流が盛んに行われていると聞いて、とてもありがたく感じました。



私たちの班の推し

私たちの班の推しはたけしです。たけしは、松山サクラメント姉妹都市協会の会長の息子で、日本語と英語両方話せます。彼は、13才で私たちと同じくらいなのに、通訳をしてくれました。彼自身も初めてだそうです。たけしのおかげでサクラメントでの活動がさらに充実したものになって感謝しています。最高の友人です！



派遣前のイメージと違っていたこと

この写真は、「カリフォルニア・ステートフェア」です。移動遊園地だから小さいと思っていたけれど、予想に反する大きさに驚きました。遊具や屋台の規模が大きく、SNSでも多くの人が紹介している有名なものだとなりました。また、サクラメントだけに限らず多くの地域から人が来ており、年齢層も幅広かったため、多くの人から愛されるお祭りだと思いました。



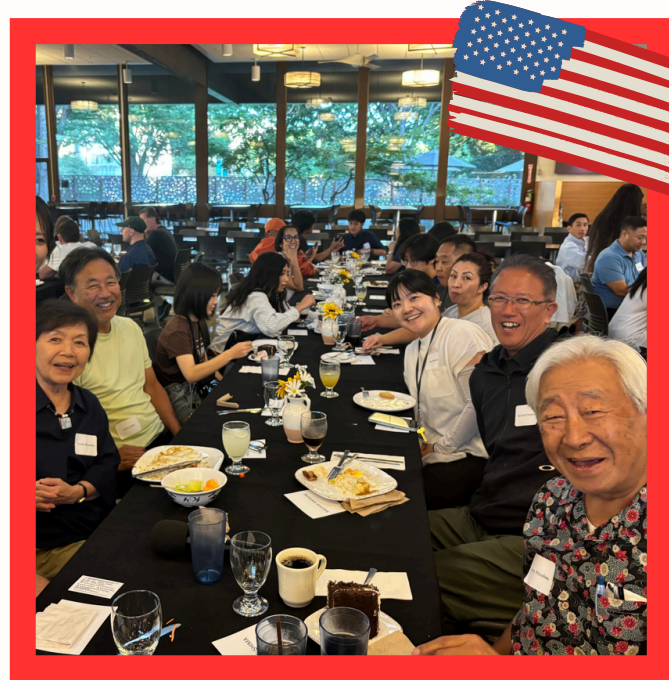
愛媛県立松山西中等教育学校 教諭 渡部一行

先ずは「令和8年度まつやま中学生海外派遣事業」に御尽力いただきました多くの関係者の皆さまに心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、今回「アメリカ班」として派遣された生徒諸君(男子4名女子6名)の派遣期間中の各プログラムへの取り組みや日常生活での成長ぶりには目を見張るものがありました。彼らのきらきら輝く目と笑顔を見ていると、これからの松山をそして日本を背負って立ってくれるであろうという期待で胸が一杯です。寸暇を惜しんで積極的に英会話にチャレンジし、現地の方々やホストファミリーと意欲的に交流し、異文化交流に果敢に取り組んだあなたたちの姿勢。決して忘れることなく今後の人生に生かしてください。

最後に今回の派遣事業に関わってくださったすべての皆さまに、そして何より全力で支えてくれた家族に、大きな大きな感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

to be continued <ありがとう おかげさまで！>



松山市立高浜中学校 教諭 平松 萌

サクラメントでの最終日、ホストファミリーとの週末を終えて帰ってきた生徒の表情を見ると、この派遣が生徒にとっていかに充実したものであったか、よく分かりました。生徒10人それぞれが、目を輝かせながらホストファミリーとの思い出を話してくれました。生徒を温かく受け入れてくれたホストファミリーに感謝いたします。また、現地のサクラメント松山姉妹都市協会の方々のホスピタリティにも感銘を受けました。「サクラメントについてもっと知ってほしい!」「この交流がずっと長く続いてほしい!」という気持ちがひしひしと伝わってきました。8日間の派遣が充実したものになったのも、現地の方々のサポートのおかげです。本当にありがとうございました。

この派遣を通して、外国文化に触れることの興味深さ、外国語を使って人とコミュニケーションをとることの楽しさを再認識しました。英語科の教員として、今後も松山の中学生にこの思いを伝えていきたいです。